



(一社) 日本労働安全衛生コンサルタント会

2023年4月1日

神奈川支部

支部ニュース

〒231-0026 横浜市中区寿町1-4

神奈川労働プラザ7F

Tel・Fax 045-633-3618

日本労働安全衛生コンサルタント会は、
労働者の安全衛生水準の向上に寄与することを目的としています。

発行責任者
吉久 功三

目次	○ 支部長挨拶 P1	○ 事業部会報告 P2	○ 総務委員会報告 P3
	○ 研修委員会報告 P4-P5	○ 事業部会に新しく入会された方(6名)の紹介 P6-P8	

【吉久支部長挨拶】

日頃は、支部活動にご協力を戴き、大変ありがとうございます。コロナ感染が始まって3年過ぎました。昨年暮れから、感染拡大した第8波も2月に入り、収束の方向に向かっており、世の中の動きもコロナ以前の状態に戻りつつあります。政府もマスク着用を3月13日から個人の判断に委ねるに変更しました。また、5月8日から新型コロナウイルス感染症を、感染症法上の扱いを第2類から第5類に変える予定です。今後第9波が出て来なければ普通の生活に戻るのではないかと期待しています。

2020年6月の支部総会で支部長に就任して以来、みんなで集まっての研修やその後の情報交換会ができず支部会員の皆様とのコミュニケーションが取りづらい状態が続いて、支部活動も制約されてきました。幸い、神奈川支部は、予算をショートすることなく活動を続けています。昨年度、研修会は対面とオンラインを併用しての運用とし、その後の情報交換会も有志で行ったところ多くの方に参加いただき、久しぶりにみなさんと意見交換ができました。今年度は、研修会はコロナ以前の状態に戻して、タイムリーなテーマで研鑽の場として支部会員のスキルアップとその後の情報交換会を活発にして支部活動の活性化を図って行きたいと思えます。

昨年の9月には、3年ぶりに支部ガイダンスを対面で開催したところ、過去3年間で支部に入部された14名の方に参加いただき、熱心な質疑応答もありました。この結果、ここ3年間は事業部会への入会者が年間で1名程度でしたが、今回は6名の入

会があり、その内4名の方が65歳以下と久しぶりに活況を呈しました。事業部会もこれまで70歳以上の方が60%以上を占め、高齢化が進んでおり、世代交代が急務となっていたところでしたので、今回入会をして戴いた方々を早く独り立ちできるよう育成していくことが重要なことと考えています。コンサルタントとして一人前になるには、やはり実際に仕事を経験することが必要です。そのためには先輩のコンサルタントについてOJTで仕事をできるようサポートして行きたいと考えます。

今年度は、第14次労働災害防止計画(第14次防)の初年度に当たります。近年の労働災害の発生状況を見ると死亡災害は減っているものの、休業4日以上死傷災害は第13次防の目標を未達です。特に、高年齢労働者の事故が増加しており、中小事業場における労働災害が多数を占めており、中小事業場を中心に安全衛生対策の取り組み促進が不可欠となっています。第14次防では、これらの災害に歯止めをかけることを掲げており、労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進、高齢者労働者の労働災害防止対策の推進、労働者の健康確保対策の推進が計画の重点対策となっています。さらに、化学物質等による健康障害防止対策の推進など我々コンサルタントの出番が増えていくことが予想されます。これらに対応するために今までの経験だけでなく、自らのスキルアップを図って、労働災害防止に貢献できるようにして行きましょう。

【事業部会報告】

副支部長・事業部会長
藤原 政志

《事業部会部会員》

事業部会部会員は、昨年12月に労働安全コンサルタント5名、労働衛生コンサルタント1名の入部があり、安全コンサルタント33名、衛生コンサルタント13名、共有2名の48名で活動しています。

《事業活動の内容》

事業活動について、過去3年間の一般公募件数は、令和2年度26件、令和3年度23件、今年度3月10日時点で25件です。その内訳を業種別に表-1に示します。

業種別では、製造業7件、建設業5件、各種工事業4件、コンサルタント会本部3件、工業団地2件、横浜市1件、コンサルタント業1件、研修機関1件、研究機関1件です。

業務内容の内訳を表-2に示します。相談を受け契約をして推進中、または完了した業務は21件、担当したコンサルタントのアドバイスで解決した2件は、業種及び相談内容は異なりますが、依頼者は、仕事の進め方、業務上関係する法令対応で判断に迷って相談がありました。担当のコンサルタントは、依頼者の現状持ち合わせている情報量、判断に迷っている状況が手に取るように認識でき、業務の進め方、判断するときの根拠について対象の法令を説明することで依頼者が納得し解決しました。

検討中の2件は、業務内容、報酬等に関して検

討中です。契約に至らなかった1件は、建設現場の安全パトロール、現場責任者等への指導に関するものです。また、表には示していませんが、依頼者がコンサルタントを指名する「指名公募」が2件ありました。「指名公募」の2件の内容は、フルハーネス安全帯特別教育及び化学物質のリスクアセスメント指導です。

《令和5年度の計画》

労働安全コンサルタント、労働衛生コンサルタントは、組織が労働災害の無い働きやすい職場環境づくりに貢献しつつ、事業部会としては収益改善(売上向上)も要求されます。

近年、相談してくる組織のコンプライアンスに関する意識の高まりを感じます。支部に相談があった場合は、事業部会長の窓口業務として相談者のところを訪問して、困っていることや依頼したいと考えている業務を聴いて、適任者選出のための公募の流れになります。しかし、相談者を訪問すると、安全衛生の担当者以外に、技術部門等数名より安全衛生以外の事業活動に係る対応についても質問があり、疑問点を解消するケースがあります。このような場合、前述した2例のケースのように業務として依頼されることはなく、収入にはなりません。このようなケースについて検討する必要性を感じます。

令和5年度は、化学物質管理、石綿に関する事前調査、テーブルゲートリフター等に関する法令対応が事業者に要求されます。これらについても、事業部会として営業活動に繋げられるようにしたいと考えております。

〔表-1〕

No	業種等	件数
1	製造業	7
	自動車製造業	
	自動車部品製造業	
	製鉄製造業	
	精密機械加工業	
2	建設業関係	5
3	各種工事業	4
4	コンサルタント会本部	3
5	工業団地	2
6	横浜市	1
7	コンサルタント会社	1
8	研修機関	1
9	研究機関	1
	合計	25

〔表-2〕

No	業務内容	件数	備考
1	安全衛生診断	6	製造業、建設業が依頼
2	安全文化定着社員教育	4	製造業、工事業が依頼
3	関係法令対応の指導	3	1件アドバイスで解決
4	受動喫煙説明会	2	オンデマンド、対面
5	安全衛生教育	1	KY、職長教育
6	受動喫煙防止指導	1	現地で指導
7	作業手順書の整備	1	※1 契約を検討中
8	講習会講師	1	技能講習の講師
9	健康診断項目調査	1	アドバイスで解決
10	化学物質訪問指導	1	訪問支援、現場指導
11	安全パトロール	1	工事現場で指導、失注
12	安全衛生管理体制構築	1	※2 契約を検討中
13	MS評価者養成	1	COHSMS 応募者なし
合計	業務完了または実施中	21	2件検討中、2件なし

【総務委員会報告】

副支部長・総務委員長
赤松 由通

令和4年6月17日開催された神奈川支部総会において承認された新体制での活動は、3月で約10カ月となります。コロナ禍の影響で、支部長・副支部長の打ち合わせは、オンラインでの実施が多くなりました。しかし、対面での打合せ・確認作業が重要であるとの認識から、できる限り神奈川支部事務局へ出向いて実施しました。また、支部研修会は、令和4年9月から令和5年3月までに5回開催しました。(対面+オンライン併用で約40名前後の参加)

総務委員会での主たる業務である「定例会議の開催」は、対面・オンライン併用で行いました。また支部オンライン会議・研修会時の通信課題については、経済的で安価なWiFi運用方式を導入する事で解消しました。

総務委員会関係の業務活動状況は、以下の通りです。

①オンライン方式併用による定例会議の開催

定例会議は、Zoomによるオンライン方式併用の会議方式で開催しました。

なお4/15、6/16の定例会議、総会は、年間計画に従い開催する予定です。

②支部会員数

支部会員数は、2月末で179名、事業部会会員数は、48名(安全33名、衛生13名、共有2名)となっています。

③支部ホームページ(HP)運用管理

神奈川支部HPは、引き続きHP委員を中心に日々情報提供の適宜な更新に努め、活かした情報提供サイトを目指し運営して行きます。HPトップ揭示領域の更新をおこない、支部長挨拶及び支部紹介ページを新設しました。

④事務所IT環境整備

事務局情報のクラウド化による新たな業務を進め、リモートワーク稼働と情報バックアップの強化を行いました。

⑤その他

◆10月21日：南関東ブロック会議

(支部幹部4名出席、他2名オンライン参加)

◆11月24日：本部によるインタビュー

(機関誌 令和5年1月20日発行記事に掲載
「特集 支部における事業拡大の取組Ⅱ」)

◆2月10日：神奈川労働局との業務連絡会

(令和4年度 第2回目)

(労働局労働基準部安全課、健康課主任専門官
支部出席者：支部長、3副支部長、書記担当)

《令和4年度 常任幹事会・幹事会・研修会等》

開催年月日	総会、常任幹事会、幹事会	研修会
令和4年6月17日(金)	令和4年度支部定期総会、第1回幹事会	
令和4年7月9日(土)	第1回常任幹事会	
7月23日(土)	第2回幹事会	
9月3日(土)	第2回常任幹事会、第3回幹事会	第1回支部研修会
10月15日(土)	第3回常任幹事会	第2回支部研修会
12月3日(土)	第4回常任幹事会	第3回支部研修会
令和5年1月14日(土)	第5回常任幹事会、第4回幹事会	第4回支部研修会
3月11日(土)	第6回常任幹事会	第5回支部研修会
4月15日(土)	第7回常任幹事会、第5回幹事会	
6月16日(金)	令和5年度支部定期総会	

【研修委員会報告】

副支部長・研修委員長
竹内 春樹

令和4年度の研修委員会の主たる活動について報告いたします。

① 支部研修会

支部活動の中での中核的活動である支部研修会ですが、昨年度は、未だ新型コロナウイルスの感染拡大が収束せず、かつその見通しもつかない状況であることから、研修会は支部会員を対象に、参加形式を、かながわ労働プラザでの対面及びオンラインの併用方式で5回実施しました。また、昨年度は、コロナ影響前までの3部構成とし、新しく入部された支部会員への能力開発支援・情報提供の観点から参考となるテーマを取り上げ、今後、労働安全コンサルタント、労働衛生コンサルタントとして活動するためにヒントとなる講演や法令改正に関する講演を内外の講師のご協力を得て行いました。

令和4年度の支部研修会の開催状況を、表-3に示します。

研修会参加者にはオンラインでの参加者も含め、研修会終了後アンケートへの回答をお願いしておりますが、研修会のテーマ(講演内容)では、毎回「非常に参考になった」が80%程度、「参考になった」が20%程度で、その他評価の回答がなかったことから、非常に好評であったと判断されます。

今後取り上げて欲しいテーマ等については、「講演テーマの続編をお願いしたいというもの(特にコンサル業務に役立つIT)や、「新たな化学物質管理についての事業場の対応」が、多くありました。そこで、今年度は、これら続編要望が多かったテーマの講演を企画したいと考えています。

また、前年度コロナの影響で控えていた研修会終了後の情報交換会も、当日の講師を交え開催し、毎回18名以上の方が参加されるという盛況ぶりで有意義なものとなりました。

② 新入支部会員への支部ガイダンス

令和3年度は、コロナの影響があったことから、集合形式をとらず、新入支部会員にガイダンス資料一式を郵送していました。令和4年度は、入会者が12名おり、コロナの影響も少なくなった9月24日(土)に、令和3年度新入会員も含めた計14名に対して、対面で支部及び事業部会の活動状況についてガイダンスを実施し、情報提供、意見交換を行いました。(ガイダンスに出席できなかった5名には、ガイダンス資料1式を郵送しました。)

ガイダンスでは、対面で多くの方が参加されたこともあり、非常に活発で熱心な質疑応答もありました。

③ 事業部会の新入部会員研修

新入支部会員への支部ガイダンスが対面で実施できた効果からか、その約1か月後には6名(労働安全コンサルタント5名、労働衛生コンサルタント1名)の方が、事業部会に入会されました。そこで、この6名の新入部会員に対し11月26日(土)に、対面でコンサルタント業務に関する研修会を実施しました。

④ 施設見学会

令和3年度に引き続き、昨年度も新型コロナウイルス感染の影響で、見学会は中止としております。

⑤ 研究会

現在、労働衛生研究会(5名)が、ほぼ毎月1回(原則第1月曜20-21時)、オンラインで労働衛生に関するテーマを発表、討議しています。直近のテーマは「化学物質自主管理の流れ」、「マインドマップ」、「電気災害の予防」、「職場環境改善」等で最後のテーマにおいては、研究会の強み『対等にフランクに個性の尊重、継続は力、テーマは自由でプレゼン後、大いに議論を交わす』を確認しました。コロナ禍の前は、かながわ県民サポートセンターで活動していましたが、今後その予約が取れた際は、対面での活動も考えています。支部会員の皆様で興味がある方は、是非お声掛けください。

労働衛生研究会では、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

〔表-3〕 令和4年度 支部研修会開催状況

回	月 日	テーマ	講 師	受講者数
1	9月3日 (土)	コンサル業務に役立つ IT スキル	①内沼創一朗氏 (事業部員)	30名
2	10月15日 (土)	①新入部員の紹介 ②これから労働安全コンサルタントとして活動する為に ③溶接接ヒュームに関する法改正と保護具	①亀ヶ谷勲氏 (事業部員) ②吉久功三氏 (支部長) ③興研株式会社 上福元清隆氏	37名
3	12月3日 (土)	①新入部員の紹介 ②これから労働衛生コンサルタント(保健)として活動する為に ③事業場の高齢者対策として求められる産業保健活動	①黒川孝氏 (事業部員) ②矢崎麻純氏 (事業部員) ③産業保健総合支援センター 副所長 赤前幸隆氏	42名
4	1月14日 (土)	①新入部員の紹介 ②これから労働衛生コンサルタント(工学)として活動する為に ③新たな化学物質管理についての事業場の対応	①寺島満氏 (事業部員) ②秋谷泰男氏 (事業部員) ③藤原政志氏 (事業部員)	40名
5	3月11日 (土)	①新入部員の紹介 ②話力の向上を目指して ③労働安全衛生コンサルタントは法の期待に込えているか	①萩田敦司氏 (事業部員) ②話力総合研究所 理事長 秋田義一氏 ③(一社)日本労働安全衛生 コンサルタント会 顧問 後藤博俊氏	43名



【写真-1 研修会の様子 (労働プラザ)】



【写真-2 研修会での実演 (労働プラザ)】

《昨年度事業部会に入会された6名の皆さんを紹介します》

矢島 聡氏〔衛生コンサルタント(保健衛生)〕、萩田 敦司氏〔安全コンサルタント(機械)〕
 渡部 良幸氏〔安全コンサルタント(土木)〕、加藤 孝夫氏〔安全コンサルタント(電気)〕
 樋口 学氏〔安全コンサルタント(化学)〕、小林 浩氏〔安全コンサルタント(土木)〕

【事業部会に入会されたコンサルタントの皆さん】

【氏名】矢島 聡(やじま さとし)

【年齢】60歳

【区分】労働衛生コンサルタント(保健衛生)

【専門事項】化学物質リスクアセスメント支援・指導、
有害性調査に関する支援、安全衛生教育

【略歴】香料メーカーに34年勤務し、その間に Ames test

(エイムズ試験:細菌を用いて突然変異性を検出する試験)を

はじめ、スクリーニング毒性試験等有害性評価の実施、社内 GLP

(Good Laboratory Practice)ラボの設置、新規化学物質届出、混合物の GHS 分類などを手掛けて

きました。また、工場火災事故を経験し、その事後対応も担当しました。

【事業部会での抱負】化学物質の自律的な管理という大変革を迎え、さらなる研鑽をつんで安全衛生水準の向上に貢献していきたいと思えます。



【氏名】萩田 敦司(はぎた あつし)

【年齢】64歳

【区分】労働安全コンサルタント(機械)

【専門事項】製造業・研究開発企業等の安全衛生診断・改善指導、
リスクアセスメント導入・推進支援、安全管理者選任時研修講師、
安全管理重視の製品開発・企業価値向上支援。

【略歴】機械メーカーおよび関連企業でターボチャージャー・小型ディーゼル
エンジンの設計開発を中心とした技術・管理業務に約40年携わりました。

自動車会社等のお客様、国内外の鋳造メーカー・機械部品メーカー等との交
流にも努め、ものづくりを学びました。

・欧州・米国に駐在し、米国では量産工場立ち上げ業務に参画しました。

・総括安全衛生管理者等の安全管理の業務を経験し、リスクアセスメントの
導入・推進や安全管理体制の強化等職場の改善を行ってきました。

【事業部会での抱負】

・技術士(機械部門)および経営・金融系資格(AFP、企業経営アドバイザー、経営品質認定セルフアセッサ
ー等)があり、この両面の知識を労働安全コンサルタント業務に活用してお客様の更なる企業価値向上を
目指します。

・お客様・従業員の方々の安全・健康・幸せに貢献できるよう、高年齢労働者や外国人労働者の方々にも
配慮したご提案を行っていきます。



【事業部会に入会されたコンサルタントの皆さん】

【氏名】 渡部 良幸(わたなべ よしゆき)

【年齢】 62歳

【区分】 労働安全コンサルタント(土木)

【専門事項】 建設工事の安全診断・指導、OSHMS・リスクアセスメント
指導・支援、労働災害の再発防止と対策指導、安全衛生教育

【略歴】 建設会社(ゼネコン)に35年間勤務し、主に鉄道、道路、
空港他の新設、既設改良工事等の生産現場に従事してきました。

・現場では日常業務の一つとして安全管理を行ってきました。

・また、ISO 審査機関に1年間勤務し、審査を行っております。

【事業部会での抱負】 ・今までの業務経験を通じて培ってきた感覚と知識を生かして、働く皆様にわかり
易い安全支援活動を行うことによって、労働災害減少のために少しでもお役に立ちたいと思っております。



【氏名】 加藤孝夫(かとう たかお)

【年齢】 68歳

【区分】 労働安全コンサルタント(電気)

【専門事項】 労働安全衛生活動に関する経営者への支援・アドバイス。
安全パトロール、安全衛生診断、安全衛生教育の実施。リスクアセスメントに
関する支援・教育の実施。

【略歴】 電気メーカーにて41年間、電気設備の計画・設計・施工の業務に従事
するとともに、事業部長ならびに製造子会社社長として、経営トップの安全
実務を経験。

【事業部会での抱負】 ・安全の大切さは、労働災害の実経験なくして語れない。41年間の実務経験と専門
知識を使って、専門人材を持つことが難しい中小企業を中心に、労働安全コンサルタントとして安全衛生
の水準向上、快適な職場環境の形成、次世代への安全スキルの継承に貢献したい。



【氏名】 樋口 学(ひぐち まなぶ)

【年齢】 64歳

【区分】 労働安全コンサルタント(化学)

【専門事項】 製造業などの安全診断及び改善指導、
リスクアセスメント指導(化学物質管理含む)、安全衛生教育(職長、安全管理
者、有機溶剤等)

(その他資格:技術士(化学部門)、作業環境測定士(第一種、有機溶剤))

【略歴】 電気会社に5年、化学会社に37年勤務。商品開発から製造技術、
品質保証と製造業全般の業務を担当し、化学物質(特に有機溶剤、有機素材
等)を扱った経験が長いです。

また、職場管理者として職場の安全衛生管理を20年以上担当。自職場での労災や衛生上の問題も
都度改善してきました。

【事業部会での抱負】 製造業等の事業所の安全診断と改善指導を進め、労災の撲滅と技術課題の解決
を図っていきたく思います。



【事業部会に入会されたコンサルタントの皆さん】

【氏名】小林 浩 (こばやし ひろし)

【年齢】69歳

【区分】労働安全コンサルタント(土木)

【専門事項】安全衛生教育、建設工事の安全指導・安全診断、OHSMSの構築支援、リスクアセスメント、リスクマネジメント支援

【略歴】高圧ガスの営業及び製造保安責任者として約5年従事、その後、総合電機メーカーの関連工事会社にて設計及び、電気、電気通信、消防設備、土木等の施工管理を約25年、その後、技術管理、経営企部門を経て、現在、安全環境部門にて安全衛生教育の講師として10年以上従事しており、そのほか安全、環境等の内部監査を行っております。

【主な資格】第一種電気工事士、消防設備士(甲種4類)、高圧ガス製造保安責任者(丙種化学)、1級土木施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、電気通信、消防設備の監理技術者、第1種衛生管理理者、有機溶剤、酸素欠乏症等、石綿作業等の作業主任者、一般建築物石綿含有建材調査者、安全衛生講師(職長・安全衛生責任者、安全管理者、各種特別教育)、OHSMS審査員(補)、国家資格キャリアコンサルタント、産業カウンセラー、両立支援コーディネーター他

【事業部会での豊富】40年以上の社会人生活を通じ、安全、健康が大切なことを実感しており、働く方々の安全、健康はもちろん、心の健康、キャリア支援、両立支援等に寄与できればと考えております。



神奈川支部会員、事業部会員の皆様へのごお願い

知人・友人・後輩等の中で労働安全衛生コンサルタントの資格を有している方がおられましたら、是非神奈川支部への入会、支部事業部会への入部の声掛けを、また、紹介情報でも結構ですので、よろしくお願いいたします。

事業部会 部会長 藤原 政志

《編集後記》

今回の支部ニュース第46号は、令和4年度の支部活動の報告と新しく事業部会に入会された6名のコンサルタントの皆さんの紹介記事を中心に掲載しました。過去3年間続いたコロナウイルス感染も収束に向かっているようです。令和5年度は、コロナ以前に戻っていくように思われます。神奈川支部の諸活動もより活発に展開できるものと期待しています。次号発行の第47号(10月1日予定)では、皆さんの活動状況を広く掲載したいと考えております。また、支部ニュースをよりよくするために多くの皆様からのご意見とご感想をお待ちしております。(編集委員一同)